

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	年二回実施されている避難訓練は日中に行っている為、夜勤専属の職員が参加する事が時間的に困難な事や、夜間帯は職員が一人の体制で勤務を行っている為、災害や火災時に備えた避難訓練を行い、利用者様の誘導を行って問題点を職員で話し合ってみる。	災害や火災時に利用者様を誘導出来るように訓練を行い意識を高める。	夜間帯は一人での勤務体制なので訓練の日以外の職員は隠れていて、一人で誘導を試みて問題点を職員全体でカンファレンスしてみる。	6ヶ月
2	26	入所当時は自力で歩行されていた利用者様も現状では高齢の為、車いすや歩行器を用いての移動を行って日中を過ごされているので、寝たきりゼロを目指す。	利用者様の残存能力を維持し日々の生活を楽しく過ごしていく。	職員全員に利用者様の日々生活を送る中での思いや行動の中から、生活リハビリ出来るところを書いていただき、毎日の生活の中で行っていただき現状維持につなげていこうと思っている。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月